

赤潮発生状況について

住友 寿明・酒井 基介

赤潮情報伝達事業の一環として、県下における赤潮発生状況を取りまとめたので報告する。なお、赤潮発生時などの情報収集、現場における赤潮の推移状況、被害発生調査等は前年と同様の方法で実施した。

結果および考察

表1に平成20年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害

害件数の推移、図2に赤潮形成域の分布をそれぞれ示した。本年は6件の発生が認められ、前年より5件少なかった。*Heterosigma akashiwo*による赤潮が、5月下旬に徳島市から小松島市沿岸の紀伊水道で発生したものの、漁業被害は報告されなかった。今季は赤潮の多発期である夏季において、台風による攪拌や大雨による栄養塩のまとまった補給が無かったため赤潮の発生件数が少なかったと考えられる。

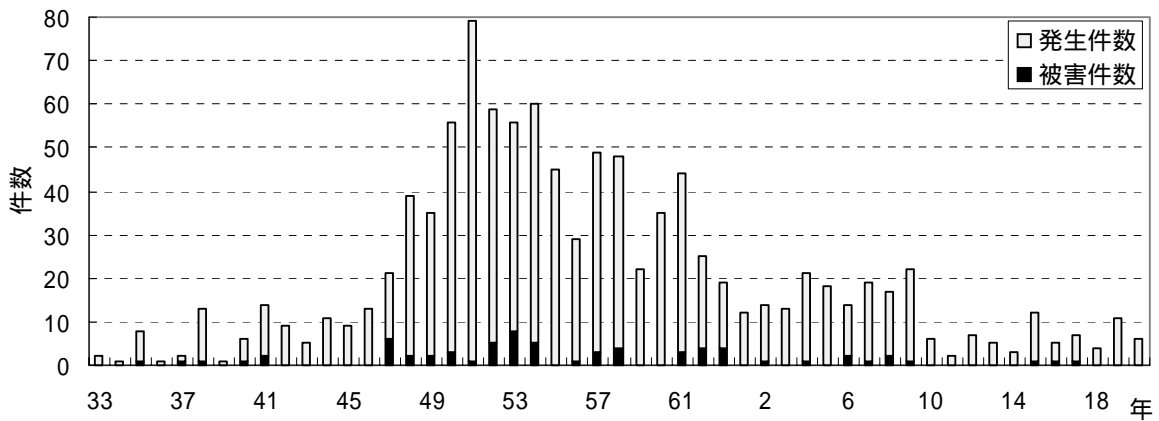


図1 赤潮の発生件数と被害件数の推移

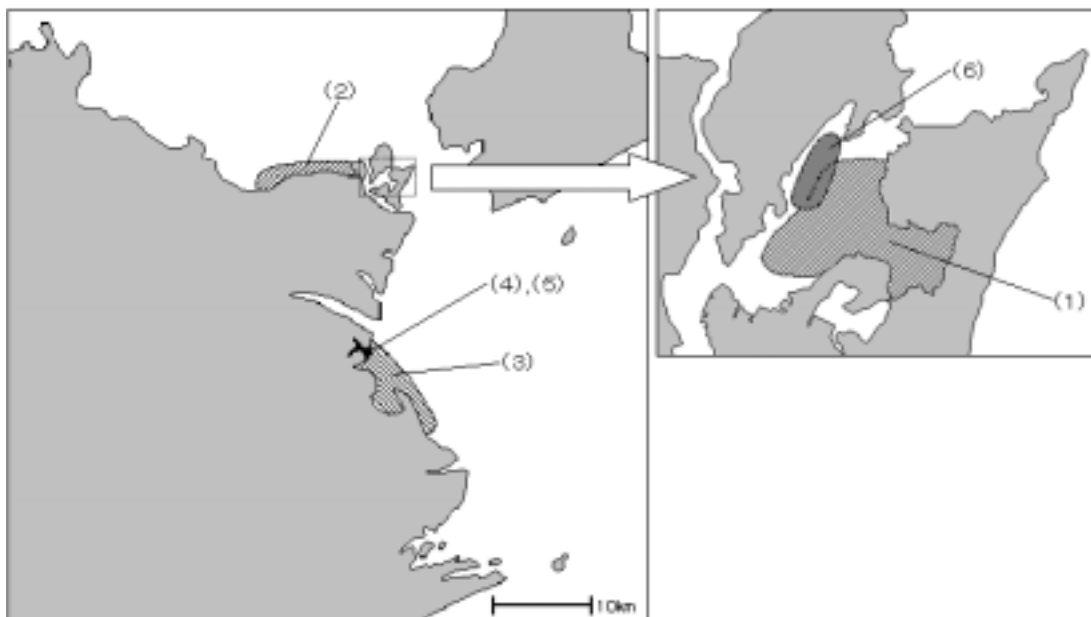


図2 赤潮形成域の分布

図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

表1 平成20年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞数 (cells/ml)	備考
1	12/27 ~ 1/9	14	鳴門市内の海	<i>Akashiwo sanguinea</i>	無	181	昨年から継続
2	4/15 ~ 5/27	43	鳴門市北灘町沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	不明	
3	5/21 ~ 5/26	6	徳島市 ~ 小松島市沿岸	<i>Heterosigma akashiwo</i>	無	298,000	
4	6/16 ~ 6/20	5	徳島市新町川河口	<i>Alexandrium catenella</i>	無	1,818	
				<i>Chaetoceros</i> spp.	無	64,300	
5	7/30 ~ 8/1	3	徳島市新町川河口	微細藻類	無	不明	
6	10/9 ~ 10/10	2	鳴門市内の海	<i>Mesodinium rubrum</i>	無	745	